

# 西百塚山19号墳の発掘調査

島根県教育庁埋蔵文化財調査センター  
令和元年5月25日(土)13:00~14:00

## 1. 西百塚山古墳群について

松江市大草町、八雲町に所在する西百塚山古墳群は、島根県最大級の「大草丘陵古墳群」の一角を構成する古墳群です。1960年に松江高校によって、七曲古墳が<sup>ななまがり</sup>発掘されていますが、大半の古墳は未調査です。近年は、松江北高校や当センターなどが継続的に測量調査・分布調査を行っており、昨年度、58年ぶりに発掘調査を実施しました。

今年度は、昨年度に続き、西百塚山古墳群最大の円墳である19号墳について、より詳細な古墳の築造時期や墳丘構造などを解明するために発掘調査を実施しました。

## 2. 昨年度の調査成果

- (1) 19号墳は、出土した円筒埴輪や朝顔形埴輪、<sup>まゆがまがた</sup>形象埴輪である蓋形埴輪から5世紀前葉~中葉頃に築造されたことが分かりました。
- (2) 古墳の築造方法として、地山を削り出し、墳丘を成形していることが分かりました。また、土層の観察から削られた地山の土は、墳頂部分に盛土として、利用されていることも分かりました。当初想定されていた古墳の外表を<sup>ふきいし</sup>飾る葺石は確認されず、葺石を持たない可能性が高くなるなど、19号墳の墳丘構造の実態を明らかにすることができました。

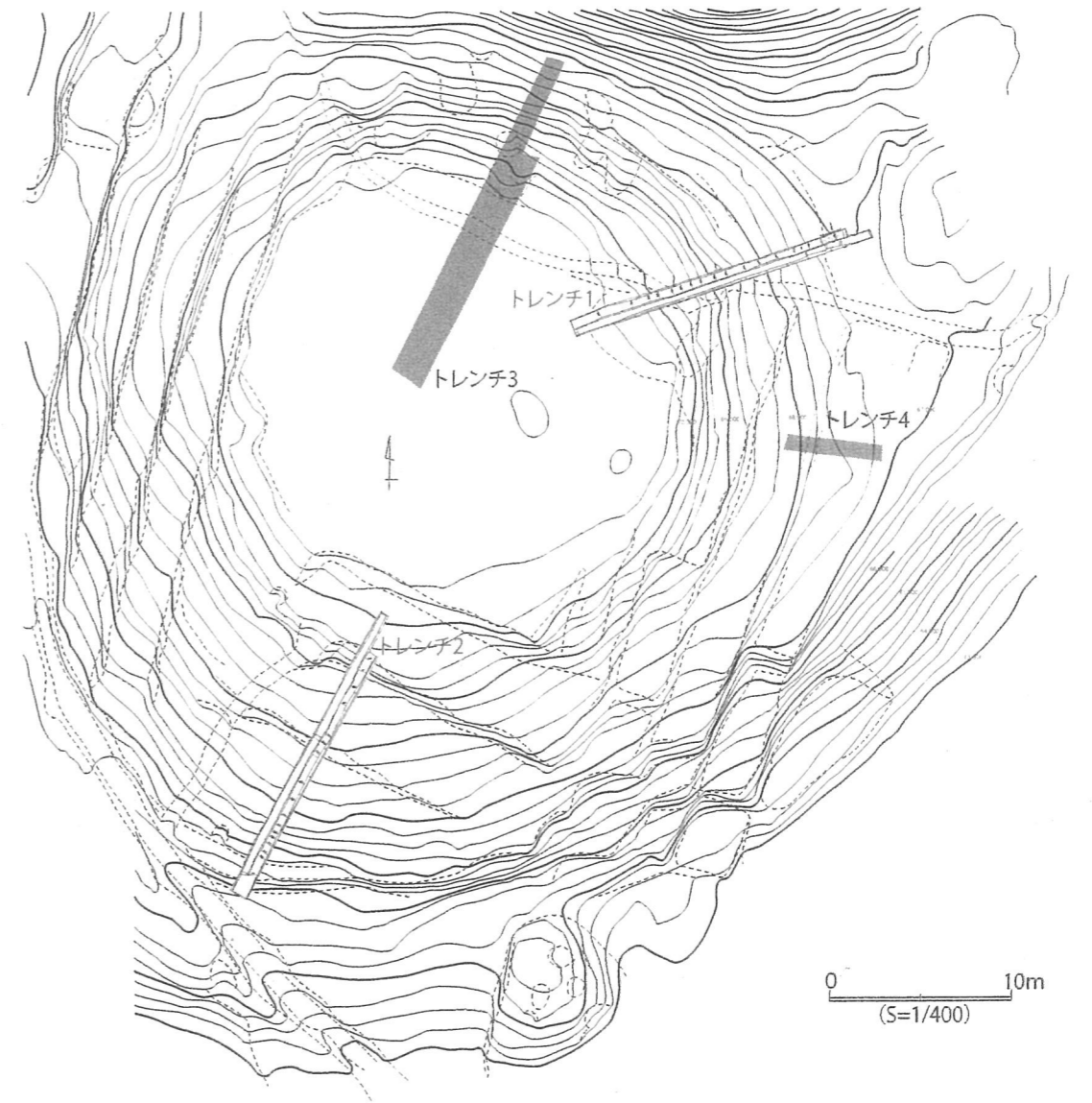
## 3. 今年度の調査成果

- (1) 墳丘の築造方法は、昨年度の成果を追認することが出来、墳丘構造について確定的な情報を得ることが出来ました。
- (2) 墳丘規模を考える上で重要な墳端と考えられる箇所を検出し、墳丘規模を検討する上で貴重な発見がありました。

## 4. まとめ

今回の発掘調査で、西百塚山19号墳の墳丘構造が明らかになりました。県内で大型円墳を調査した事例は非常に少なく、古墳時代の出雲における大型円墳の様相を知るうえで重要な資料になりました。また、西百塚山古墳群最大の古墳の様相が分かってきたことにより、今後、古墳群や意宇平野の首長墳の展開などを考えるうえでも、貴重な発見になりました。

西百塚山古墳群の墳丘測量図は島根県立松江北高校歴史愛好会にご提供いただきました。



令和元年度西百塚山19号墳トレンチ配置図

出雲の大型円墳ランキング

名称	所在	墳丘規模(m)	葺石	埴輪	時期
1 大垣大塚1号墳	松江市大垣町	52×54	あり	円筒埴輪、朝顔形埴輪	4世紀末~5世紀初
2 西百塚山19号墳	松江市大草町	49	なし	円筒埴輪、朝顔形埴輪、蓋形埴輪	5世紀前葉~中葉
3 古曾志大塚1号墳	松江市古曾志町	44×46	あり	埴輪	5世紀中葉
4 上塩冶築山古墳	出雲市上塩冶町	46	なし	円筒埴輪、形象埴輪	6世紀後半
5 多久神社裏山古墳	松江市鹿島町	45			
6 岡田山2号墳	松江市大草町	44	あり?	円筒埴輪	4世紀末~5世紀初?
7 大源1号墳	松江市西持田町	37	あり	円筒埴輪	5世紀後半
8 上野1号墳	松江市宍道町	36		鱗付円筒埴輪、鱗付朝顔形埴輪、円筒埴輪	4世紀後半~末
9 あんもち山古墳	安来市宮内町	36	なし	なし	5世紀前半?
10 松ヶ峠古墳	松江市法吉町	36			5世紀前半~中葉?

※西百塚山19号墳は測量の際の数値

西百塚山古墳群

古天神古墳

東百塚山古墳群

東百塚山古墳群・西百塚山古墳群測量図 (S=1/1000)

